



# Answers Reading

- 1 鳥が殺されたり事故で死んでいることもあるが、私たちが自然に死んだ鳥をたくさん見ることとはあまりない。
- 2 ②イ ③ア ⑤ウ
- 3 鳥の死がいがほかの生き物にあっていう間に食べられてしまうこと。
- 4 エ 5 ア 6 (a) × (b) ○ (c) ○ **Word Quiz** expert

## Comments

- 1 not ... many は「あまり…ない」。解答では自然な日本語になるよう、「…することはあまりない」と訳している。which 以下は birds を先行詞とする関係代名詞節で、die naturally は「自然に死ぬ」の意味。  
Some birds are killed or die in accidents, but we don't see many birds **[which die naturally]**.  
関係代名詞節
- 2 ②「私たちは死んだ鳥を見かけない」と「あつという間にほかの生き物に食べられてしまう」をつなぐ接続詞なので、〈理由〉を表す**イ** because が適する。  
③「これは残酷な運命のように聞こえる」と「鳥の専門家の中にはそう考えない人もいる」をつなぐ接続詞なので、〈譲歩〉を表す**ア** though が適する。  
⑤「鳥がもはや動くことができなくなる」と「それはほかの生き物のための食料になる」をつなぐ接続詞なので、「…のとき」を表す**ウ** when が適する。



### TECHNIQUE 解き方のテクニック

空所に接続詞を選んで入れる設問の場合、空所前後の意味を押さえることが重要。入れるべき接続詞の見当がつかいたら、必ず空所に入れて意味を確認すること。

- 3 下線部④を含む文は「これは残酷な運命のように聞こえる」という意味。「これ」とは「残酷な運命に聞こえる」ことなのだから、直前の「あつという間にほかの生き物に食べられてしまう」を指すと判断できる。
- 4 the birds flying over (⑥) は「( )の上を飛んでいる鳥」という意味。直後の「えさがなくて休むのに適した場所もない」を参照し、「えさも休む場所もない場所」として適切な**エ** the ocean「海」を選ぶ。
- 5 in the first place は「そもそも、初めから」という意味なので、**ア**が正解。
- 6 (a) 「鳥は決まった場所に行ってそこで死ぬので、私たちはめったに死んだ鳥を見ない」第2段落第1文に、「鳥は特別な死に場所へ飛んでいくわけではない」とあるので、×。  
(b) 「ある専門家が森の中で見た死んだ鳥は、1時間でほぼ食べられてしまった」第2段落第7、8文に「彼女(=鳥の専門家)は森の中へ入り、散歩の最初の部分で体全体が残っている鳥の死がい地面の上にあるのを見た。帰り道では、1時間後のことだったのだが、その体はすでにほとんどなくなっていた」とある。また、この話は、第2段落第5、6文の「鳥は死ぬと動物や細菌に食べられる」ということ具体例なので、選択肢の内容は本文の内容に合っている。  
(c) 「鳥が飛んでいる最中に死ぬかどうかは、私たちはそれが起こるのを見たことがないのでわからない」最終段落第1文に「空中で死んだ鳥を見た人は今までに誰もいないので、私たちに誰が正しくて誰が間違っているのかわからない」とあるので、本文の内容に合っている。

**Word Quiz** 「( )とは、あるテーマの特別な技術や知識を持っている人」の( )にあてはまる語は expert「専門家」。(第2段落第3文)

## Translation

- 1 We see **hundreds of** birds almost every day. Some birds are killed or die in accidents, but we don't see many **birds** **which die naturally**. Why? Do birds go to some special places to die?  
私たちはほぼ毎日、何百羽もの鳥を目にする。鳥が殺されたり事故で死んでいることもあ  
るが、私たちが自然に死んだ鳥をたくさん見ることとはあまりない。なぜだろうか。鳥は特別な死に場所へ行くのだろうか。  
2 Actually, birds don't go anywhere particular to die. We don't see dead birds because they are quickly eaten by other living things. Though this **sounds like** a cruel fate, some bird experts don't think so. They think the system of the natural world is very rational. When a bird **cannot** move **anymore**, it becomes food for other living things. Birds are eaten by cats, dogs, rats, small insects, and even bacteria. One expert told us **that she went into the woods and saw the whole body of a dead bird on the ground on the first part of the walk. On the way back**, an hour later, most of the body was already gone. Within twenty-four hours, it was nothing but **a pile of feathers**.  
実際に、鳥は特別な死に場所へ行くわけではない。私たちが死んだ鳥を見かけないのは、それらがあつという間にほかの生き物に食べられてしまうからだ。これは残酷な運命のように聞こえるが、鳥の専門家の中にはそう考えない人もいる。彼らは自然界の体系はとても合理的だと考える。鳥がもはや動くことができなくなると、それはほかの生き物のための食料となる。鳥はネコ、イヌ、ネズミ、小さな昆虫、さらには細菌にさえ食べられる。ある専門家から私たちに話したところによると、彼女は森の中へ入り、散歩の最初の部分で体全体が残っている鳥の死がい地面の上にあるのを見た。帰り道では、1時間後のことだったが、その体はすでにほとんどなくなっていた。24時間以内に、それはただの羽根の山になつていたので。  
3 Another expert on birds says that a few birds may die **in flight**. He says that the birds **flying over the ocean, far away from food and without good places for rest**, may die in the air. But, many think that this explanation is wrong because the sick birds don't fly **in the first place**.  
別の鳥の専門家は、飛行中に死ぬ鳥も少しはいるかもしれないと言う。彼は、海の山の上を飛んでいる鳥は、えさがなくて休むのに適した場所もないので、空で死ぬかもしれないと言っている。しかし、多くの人々は、そもそも病気の鳥は飛び立てないので、この説明は間違っていると考えている。  
4 No one has ever seen any birds die in the air, so we cannot tell **who is right and who is wrong**. Birds' lives are still very mysterious.  
空中で死んだ鳥を見た人は今までに誰もいないので、私たちに誰が正しくて誰が間違っているのかわからない。鳥の生活はいまだにとても謎に包まれているのだ。

- hundreds of ...** 「何百もの…」
- which die naturally** : 関係代名詞節 (先行詞は birds)
- sounds like ...** 「…のように聞こえる」
- not ... anymore** 「もはや…ない」
- on the way back** 「戻る途中で、帰り道で」
- a pile of ...** 「…の山(束)」
- in flight** 「飛行中に」
- flying ... ocean** : birds を修飾する現在分詞節
- far ... rest** : 分詞構文 (being の省略)
- in the first place** 「そもそも、初めから」
- who ... wrong** : tell の目的語となる疑問詞節

Grammar

- 1) 1) caught 2) is using 3) will be
- 2) 1) changed 2) have known 3) comes 4) will start
- 3) 1) had bought 2) had, seen 3) had been playing
- 4) will have finished[done] 5) will have lived

Writing

- 1) She will[She'll] have visited the museum three times if she visits it again.
- 2) I will[I'll] have seen[watched] the movie five times if I see[watch] it again.

Meaning

- 1 イ 2 エ

Listening

- 1 エ 2 イ

Dictation 1) in an accident 2) sorry, for it 3) way back, pile 4) already gone 5) other living things

Comments

Grammar

1 時制の判断・動詞の形

- 1) 「彼はボールをキャッチし、私に投げ返した」 threw (throwの過去形) があるので、過去の文と判断する。
- 2) 「私のコンピュータを姉[妹]が使っているので、今、私はそれを使うことができない」 nowがあるので、「使っている」という現在進行中の動作を表していると考え、**現在進行形** (is[am, are] + -ing) にする。
- 3) 「次のバスに乗り遅れたら、遅刻しますよ」 if節の動詞 miss が現在形なのは、(条件)を表すif節では未来のことでも現在形を用いて表すからである。「遅刻します」は**未来**のことなので **will + 動詞の原形** で表す。

2 注意すべき時制

- 1) 「ヨウコは1週間前にメールアドレスを変えた」 ... ago といった、はっきりと過去を表す語(句)は、**現在完了**の文では使えない。
- 2) 「私たちが知り合って約10年になる」 for ... 「...の間」は、**完了形**(継続)を表す文でよく使われる。

- 3) 「彼女が来たら、私は彼女にプレゼントを渡すつもりだ」 when 「...するとき」という時を表す副詞節の中では、1)の3)と同じく、**未来**の内容であっても**現在形**で表す。
- 4) 「彼らはいつコンサートが始まるか知っていますか」 when が「いつ...するか」という意味の名詞節を導く場合は、**未来**の内容は**未来形**で表す。

3 過去完了・未来完了

- 1) 過去のある時点より前に起こったことは、**過去完了** (had + 過去分詞) で表す。
- 2) 過去のある時点まで「一度も...したことがなかった」という(経験)は**過去完了**で表す。
- 3) 「ずっとテレビゲームをしていた」という過去のある時点までの動作の(継続)は、**過去完了進行形** (had been + -ing) で表す。
- 4) 「...して(しまって)いるだろう」という**未来**のある時点までの(完了)は、**未来完了** (will have + 過去分詞) で表す。
- 5) 「(ずっと) ...していることになる」という**未来**のある時点までの状態の(継続)は、**未来完了**で表す。

Writing

if節を伴う未来完了

未来のある時点までの(経験)は、**未来完了** (will have + 過去分詞) で表す。(条件)を表すif節の中は**未来**のことであっても**現在形**で表す。

- 2) 「映画を見る」は、see[watch] a movie.

Meaning

- 1) 会話中での野菜は「夏野菜」で「日本ではその野菜は紫色」とあることから、ナスだとわかる。

日本語訳

ユミ：この夏野菜は日本でとても人気があるのよ。  
 エド：ああ、それならイギリスにもあるよ。それを aubergine と呼ぶんだ。  
 ユミ：Aubergine? 難しく聞こえるわね。  
 エド：確かに。それはそのフランス語の名前に由来しているんだ。アメリカの人々はそれを別の名前で呼ぶというのを聞いたことがある。白くて卵の形をしている種類もあるんだよ。  
 ユミ：私は白いものは見たことがないわ。日本では、たいてい**その野菜は紫色**だわ。

- 2) 気候が暖かくなっているということから「温帯」ということ、「日本が位置する」ということから「温帯」という気候の分類のことだとわかる。

日本語訳

地球の気候は変わりつつある。年々、夏はより暑く、冬はより暖かになっているようだ。南の地域にもともと住んでいる昆虫が、最近この辺でもどんどん見られるようになってきている。私たちは、日本は**温帯**に位置すると習ったが、より暑い地帯に変わりつつあるのか?

Listening

- 1) ケンタは髪が長く、メガネをかけており、ケンタと離れたところにショートヘアのストライプの服を着ている女の子がいる。ということから、ケンタを判断する。
- 2) 最後に男性が思い出した位置に車はある。対話のやりとりから、女性は車を停めた場所をよく覚えていないので、男性の発言に注目すること。

Script ①

W: Kenta? I almost didn't recognize you. **Your hair is long now and you're wearing glasses.**

M: Now that I'm in university, I can grow my hair long. I've gained some weight though because I don't play baseball anymore. Do you want to meet my girlfriend?

W: Sure, is she here today?

M: Yes, she's the girl over there with the short hair in the striped dress. Come on, I'll introduce you.

Script ②

W: Can you go to the car and bring me the bag in the trunk? We parked in Section 3. Do you think you can find it?

M: I think so. We parked in the very back, right?

W: Yes, but wait a minute. It might have been Section 2.

M: Don't worry. I remember now. The car's **in the far right corner as you go out of the elevator.**

日本語訳①

W: ケンタ? あなただとはもう少しで気づかないところだったわ。今髪は長いし、メガネをかけてるんだもの。

M: 今や大学生だからね、髪を長く伸ばせるんだよ。でももう野球をやっていないから太っちゃったけどね。僕の彼女に会いたい?

W: もちろんよ、彼女は今日ここにいるの?

M: うん、向こうにいる、ショートヘアの、ストライプの服を着てる女の子だよ。おいでよ、きみを紹介するよ。

日本語訳②

W: 車に行ってトランクの中のカバンを持ってきてくれる? セクション3に停めたのよ。見つけれらると思う?

M: そう思うよ。ずっと後ろの方に停めたんだっただよ?

W: ええ、でもちょっと待って。セクション2だったかもしれないわ。

M: 心配ないよ。今思い出した。車は**エレベーターを降りて右奥の隅**にあるよ。